

ジョルダン国
コンピュータ訓練研究センター
巡回指導調査団報告書

1992年10月

国際協力事業団

307
64.8
MIT

鉦開協
JR
92-27

国際協力事業団

25659

JICA LIBRARY



1109823(3)

序 文

ジョルダン国における情報処理技術者を育成し、同国の社会・経済的發展に資することを目的として1990年6月27日に「ジョルダン・コンピュータ訓練研究センタープロジェクト」が開始されて以来、2年余りが経過し、技術移転も順調に行われつつある。

今般、日本国政府は国際協力事業団（JICA）を通じ、プロジェクトの現状確認をするとともに、平成4年度年次計画を策定することを主目的として、巡回指導調査団をジョルダン国へ派遣した。

本報告書は、同調査団の調査結果をとりまとめたものである。

ここに、同調査団派遣に際し、ご協力いただいた関係各機関に対し、深く感謝申し上げる次第である。

1992年10月

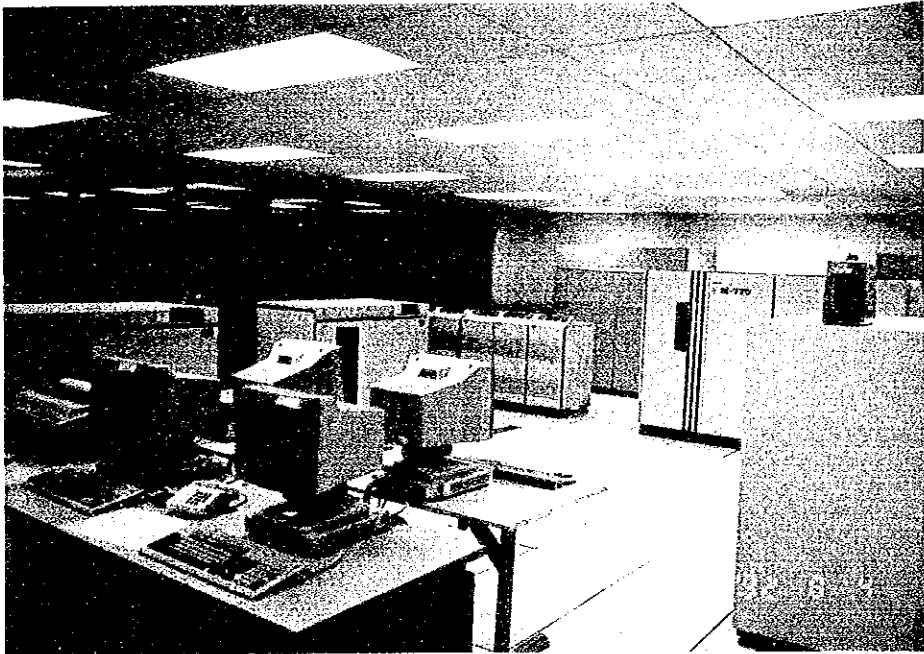
国際協力事業団

鉱工業開発協力部

部長 内 仲 康 夫



▲ ミニッツ署名



▲ コンピュータ訓練研究センター内コンピュータルーム

目 次

序 文
写 真

I. 巡回指導調査団の派遣	1
1. プロジェクト概要	1
2. 調査団派遣の目的	1
3. 調査項目	1
4. 調査団構成	2
5. 調査日程	3
6. 主要面談者	4
II. 対処方針と調査結果	5
III. 調査団特記事項	11
1. 調査概要	11
2. アラビア語出力ソフトウェアについて	12
IV. 合意文書	13

I. 巡回指導調査団の派遣

1. プロジェクト概要

プロジェクトの背景

天然資源に恵まれないヨルダン国にとって、人的資源の開発が最も重要な課題であり、建国以来これまで教育分野への投資に力を注いできた。しかし、現在の沈滞しているヨルダン国の経済を活性化させるためには、各種産業の発展の基礎となる情報化の促進が不可欠であり、これに伴う情報処理技術者の育成を進める必要性が生じてきた。こうした状況から1987年、ハッサン皇太子を議長とする科学技術高等審議会が設立され、科学技術振興を最重点課題として活動を開始している。本プロジェクトは、科学技術高等審議会の具体的な活動の第一弾として、88年7月に我が国に対して正式要請されたものである。

協力期間

1990年6月27日から1994年6月26日まで4年間。

2. 調査団派遣の目的

本調査団は、平成3年度年次計画の実績をレビューし、先方関係機関との協議を通じて、現状把握のうえ、問題点を検討し、平成4年度年次計画の策定を行うものである。

3. 調査項目

(1) 平成3年度年次計画の進捗状況の把握

- a. 長期・短期専門家派遣
- b. 研修員受入れ
- c. 供与機材についての確認
- d. 組織についての確認
- e. カウンターパート(C/P)配置状況
- f. 施設についての確認
- g. 予算措置状況

(2) 技術移転計画

- a. 技術移転状況の確認
- b. 研修コース準備状況の確認

(3) 実施運営管理上の問題点

(4) 平成4年度年次計画の策定

4. 調査団構成

<総括・団長>

国際協力事業団

鉱工業開発協力部

部長 内仲康夫

YASUO UCHINAKA

MANAGING DIRECTOR,

MINING & INDUSTRIAL DEVELOPMENT COOPERATION DEPARTMENT,

JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

<技術協力計画>

通商産業省

大臣官房情報管理課計画班

係長 松川 毅

TSUYOSHI MATSUKAWA

INFORMATION PROCESSING ADMINISTRATION DIVISION,

MINISTRY OF INTERNATIONAL TRADE AND INDUSTRY

<データ通信>

郵政省

電気通信局データ通信課

河内達哉

TATSUYA KAWACHI

COMPUTER COMMUNICATION DIVISION,

MINISTRY OF POSTS AND TELECOMMUNICATIONS

<教育訓練計画>

財団法人国際情報化協力センター

振興部

コンサルタント 加藤憲治

KENJI KATO

CONSULTANT,

PLANNING AND COORDINATION DIVISION,

CENTER OF THE INTERNATIONAL COOPERATION FOR COMPUTERIZATION

<ソフトウェア>

財団法人国際情報化協力センター

振興部

コンサルタント 青山昌裕

MASAHIRO AOYAMA

CONSULTANT,

PLANNING AND COORDINATION DIVISION,

CENTER OF THE INTERNATIONAL COOPERATION FOR COMPUTERIZATION

<プロジェクト運営管理>

国際協力事業団

鉱工業開発協力部 鉱工業開発協力課

ジュニア専門員 三国清治

SEIJI MIKUNI

TECHNICAL COOPERATION DIVISION,

MINING & INDUSTRIAL DEVELOPMENT COOPERATION DEPARTMENT,

JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

5. 調査日程

月 日(曜)	行 程
7月30日(木)	午前 成田発(NH201) 午後 ロンドン着
31日(金)	午前 ロンドン発(RJ112) 午後 アンマン着
8月1日(土)	午前 HCS T、RSS表敬訪問 午後 Computer Technology, Training and Industrial Studies Centre (CTTISC)との協議
2日(日)	午前 JICA ジョルダン事務所、日本大使館表敬訪問 午後 CTTISCとの協議
3日(月)	午前 CTTISCとの協議 午後 CTTISCとの協議
4日(火)	午前 M/M最終確認、M/M署名 午後 資料整理
5日(水)	午前 資料整理 午後 資料整理
6日(木)	午前 計画省表敬訪問 午後 アンマン発(RJ111) ロンドン着
7日(金)	午後 ロンドン発(BA007)
8日(土)	午前 成田着

6. 主要面談者

<科学技術審議会 (H C S T)>

① Dr. Abdel-Rahman A. Al-Fataftah Acting Secretary General

② Dr. Ghassan Mufleh Director, I. T. Dept.

<計画省>

③ Dr. Safwan Touqan Secretary General

<C T T I S C>

④ Dr. Yousef A. Nusseir Director

⑤ Dr. Saqer Abdel-Rahim Head, Research & Information Division

⑥ Mr. Fadel Sweidan Head, Advanced Training Division

⑦ Mr. Susumu Iwasaki Chief Adviser

⑧ Mr. Yasunori Sato Japanese Expert

⑨ Mr. Tetsu Uehara Japanese Expert

⑩ Mr. Tsuyoshi Murakami Coordinator

<日本大使館>

⑪ Mr. Tadayuki Nonoyama Ambassador

⑫ Mr. Tetsuro Amano Secretary

<J I C A ジョルダン事務所>

⑬ Mr. Kiyoshi Hirakawa Resident Representative

Ⅱ. 対処方針と調査結果

調査項目	現状及び問題点	対処方針	協議概要
1.プロジェクト の目的	「ジョ」側C/Pが、独自で、コンピュータ訓練研究センターで行われる研修コースを実施できるようにするために、「日」側専門家は「ジョ」側C/Pに対し必要な技術を移転する。	今後も、同目的に沿って協力を推進する。	
2.年次計画 a.専門家派遣 ①長期	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>91～92年度実績</p> <p>①チーフアドバイザー (岩崎 晋) 1991/10/31～1993/10/30</p> <p>②オペレーティングシステム (里 保徳) 1991/10/31～1993/10/30</p> <p>③データベース (上原 哲) 1991/12/12～1993/12/11</p> <p>④業務調整員 (村上 剛) 1992/5/10～1994/6/26</p> </div>		
②短期	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>91～92年度実績</p> <p>①施設 (内野 学) 1992/3/26～1992/4/6</p> <p>②施設 (内野 学) 1992/4/16～1992/4/30</p> <p>③施設 (赤松啓次) 1992/4/16～1992/5/4</p> <p>④カスタマ・エンジニア(笠井 治) 1992/4/23～1992/5/9</p> <p>⑤カスタマ・エンジニア(加藤敦己) 1992/4/23～1992/5/29</p> <p>⑥システム・エンジニア(青山昌裕) 1992/5/7～1992/5/23</p> <p>⑦システム・エンジニア(海老原孝徳) 1992/5/7～1992/5/23</p> </div>		

調査項目	現状及び問題点	対処方針	協議概要
b.研修員受入れ	<p>—92年度予定— UNIX、保守教育を各1名</p> <p>—91年度実績— 92/2/4~92/4/7の日程で3名(維持管理) 92/3/29~92/4/28で3名(ソフトウェア)受入れ</p> <p>・研修員3名(システム・エンジニア)には高レベルの研修をサイト側から要求したこともあり、その研修経費がJICAの基準を大きく上回り、納入メーカーとの調整で研修時期が予定より遅れた。 ・研修員からは、基礎的な研修は省略して専門的な研修に傾注した方が望ましいとの希望が出されていた。</p> <p>—92年度予定— システム・エンジニア3名を受入れ予定</p> <p>本部より今年度以降の研修員は沖縄センター(OIC)で引き受けたいとの意向が知らされてきた。しかし、プロジェクトサイトではOICの講師2名が技術移転を担当しており、OICにおける再研修は意味なしとの結論となった。したがって、納入メーカーでの研修を考慮してほしい。</p>	<p>派遣希望時期・期間・分野を確認する。 A-1-Formの提出期限(8月末)をミニッツに記載。</p> <p>研修希望時期・期間・分野を明確にする。 日本に持ち帰り、関係者と協議後、A-2、A-3-Formの提出を現地に連絡する旨、ミニッツに記載。</p>	<p>保守教育を2名としミニッツに記載した。</p> <p>UTS側でアラビア語出力を開発することに伴い、納入メーカーでの技術研修は本年度は必要ないとの申し出があり、ミニッツでは2~3名を受け入れるとの表現にとどめた。</p>
c.機材供与	<p>—91年度実績— ホスト・コンピュータと周辺機器 パーソナル・コンピュータと周辺機器 教育用機器(コピー機、スライドメーカー、VTR) その他(エアコン) 92.5 末に据付け完了し、技術移転・コース開発に使用中</p>	<p>これまでの供与機材の保管・利用状況等を調査。</p>	<p>供与機材の一覧をとりまとめた。</p>

調査項目	現状及び問題点	対処方針	協議概要				
d. 組織	<p>91.7の計画打合せ調査団ミニッツAnnex 6のF618A1, F618Bは、それぞれF617A1, F617Bの誤りであり、本センター所長の了解済み。</p> <div data-bbox="391 405 885 577" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>92年度予定</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 2px;">ワークステーション(HP)</td> <td rowspan="3" style="padding: 2px;">} 現地調達</td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 2px;">ビデオセット一式</td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 2px;">マイクロバス</td> </tr> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・1990.6中に開催されたACC総会(エジプト、ジョルダン、イラク、イエメン各国で構成される経済技術協力に関する会議)において、本センターをACC諸国の情報処理技術者を育成するための中核的な研修センターとする旨、確認された。 ・上記目的のため、Royal Scientific Society(RSS-王立科学院)のコンピュータセンターと同センター内にあるプリンセススマヤカレッジ(情報処理短期大学)及び本センターを一か所に集約させたいという「ジョ」側の意向があった。 ・RSSの情報コンピュータ・ソフトウェアセンターは、RSSの産業調査課・経済産業センターと合併し、Computer Technology Training & Industrial Studies Centreとなった。(1992.6.1) ・Centreは開所式を開催した。(1992.7.1) ・R/D時の本センターの名称はComputer Technology Development and Training Centreである。 	ワークステーション(HP)	} 現地調達	ビデオセット一式	マイクロバス	<p>確認し、ミニッツに明記する。</p> <p>92.7下旬、資金前渡予定。</p> <p>本センターの名称を変更したか否か確認する。</p>	<p>ミニッツに記載した。</p> <p>93年度供与機材としてUTSのRDBソフトウェアである“ORACLE”の希望が出され、予算の範囲内で考慮する旨、表明した。</p> <p>上部組織の改組に伴って名称が変わったことを確認した。</p>
ワークステーション(HP)	} 現地調達						
ビデオセット一式							
マイクロバス							
e. カウンターパートの配置状況	<p>91年度実績</p> <div data-bbox="375 1534 885 1736" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>所長1名、施設3名、カスタマ・エンジニア3名、OS・言語2名、DB・DC2名、SE2名、インストラクタ13名(うち5名は兼任)、事務職員6名の計27名</p> </div>	<p>これからの配置予定について確認する。</p>	<p>現状を確認するとともに、92年度もR/Dのカウンターパート配置分野に従って配置の予定であることを確認した。</p>				

調査項目	現状及び問題点	対処方針	協議概要																																																															
f.施設 ①コンピュータ・ルーム ②改修	<p>施設の大部分はスケジュールどおりにアレンジされたが、以下の部分は遅れた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ・ルームの床及び天井 ……4か月遅れ1992.3末に完了。 ・コンピュータ・ルームの主電源、ターミナルルーム・PCルームへの電力供給 ……4か月遅れ1992.4末に完了。 ・空調の据付け 供与が1か月遅れ、日本人専門家の指導のもと、「ジョ」側エージェントにより、1992.3末に完了。 <p>・コンピュータ・ルーム、ターミナル・ルーム、PCルーム、講義室、専門家事務室、倉庫が完工（1991.11末）。</p>																																																																	
g.予算措置	<table border="1" data-bbox="351 974 869 1400"> <tr> <td colspan="4">91年度実績</td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>JD 306,000 (5,737万円)</td> <td>91.1.1</td> <td rowspan="2">}</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>~ 12.31</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>JD 60,000 (1,125万円)</td> <td></td> <td rowspan="6">}</td> </tr> <tr> <td>ユーティリティ</td> <td>JD 10,000 (188万円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消耗品</td> <td>JD 7,500 (141万円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オフィス設備</td> <td>JD 31,000 (581万円)</td> <td>91.6.1</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>JD 5,000 (94万円)</td> <td>~</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>JD 23,000 (431万円)</td> <td>12.31</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>JD 442,500 (8,297万円)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="351 1422 869 1814"> <tr> <td colspan="4">92年度予定</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>JD 120,000 (2,250万円)</td> <td></td> <td rowspan="8">}</td> </tr> <tr> <td>ユーティリティ</td> <td>JD 20,000 (375万円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消耗品</td> <td>JD 15,000 (281万円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オフィス設備</td> <td>JD 11,000 (206万円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>JD 5,000 (94万円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>メンテナンス</td> <td>JD 10,000 (188万円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>JD 10,000 (188万円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>JD 191,000 (3,581万円)</td> <td></td> </tr> </table>	91年度実績				工事費	JD 306,000 (5,737万円)	91.1.1	}			~ 12.31	人件費	JD 60,000 (1,125万円)		}	ユーティリティ	JD 10,000 (188万円)		消耗品	JD 7,500 (141万円)		オフィス設備	JD 31,000 (581万円)	91.6.1	旅費	JD 5,000 (94万円)	~	その他	JD 23,000 (431万円)	12.31	計	JD 442,500 (8,297万円)			92年度予定				人件費	JD 120,000 (2,250万円)		}	ユーティリティ	JD 20,000 (375万円)		消耗品	JD 15,000 (281万円)		オフィス設備	JD 11,000 (206万円)		旅費	JD 5,000 (94万円)		メンテナンス	JD 10,000 (188万円)		その他	JD 10,000 (188万円)		計	JD 191,000 (3,581万円)		<p>要確認。</p>	<p>左記のとおり確認した。</p>
91年度実績																																																																		
工事費	JD 306,000 (5,737万円)	91.1.1	}																																																															
		~ 12.31																																																																
人件費	JD 60,000 (1,125万円)		}																																																															
ユーティリティ	JD 10,000 (188万円)																																																																	
消耗品	JD 7,500 (141万円)																																																																	
オフィス設備	JD 31,000 (581万円)	91.6.1																																																																
旅費	JD 5,000 (94万円)	~																																																																
その他	JD 23,000 (431万円)	12.31																																																																
計	JD 442,500 (8,297万円)																																																																	
92年度予定																																																																		
人件費	JD 120,000 (2,250万円)		}																																																															
ユーティリティ	JD 20,000 (375万円)																																																																	
消耗品	JD 15,000 (281万円)																																																																	
オフィス設備	JD 11,000 (206万円)																																																																	
旅費	JD 5,000 (94万円)																																																																	
メンテナンス	JD 10,000 (188万円)																																																																	
その他	JD 10,000 (188万円)																																																																	
計	JD 191,000 (3,581万円)																																																																	

調査項目	現状及び問題点	対処方針	協議概要
<p>3.技術移転計画</p>	<p>技術移転分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング言語 ・オペレーティングシステム ・データベースとデータ通信 ・システムデザイン ・プロジェクト管理 <p>機材の据付けが完了し、専門家はコンピュータを使用し、C/Pに技術移転を実施中。</p> <p>C/Pは1992.9中に始まる研修コースの開発準備をしている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>92年度研修コース予定</p> <p>研修コース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上級プログラマコース……4か月半 2回実施予定(92/9、93/3) ・システム・エンジニアコース……3か月 1回実施予定(93/3) <p>短期コース……2～4週間</p> <p>17コース準備されており、1コース実施済み、2コース実施中</p> </div> <p>R/D時のT S Iによる上級プログラマコース、システム・エンジニアコースの開催予定期間は、それぞれ6か月間。</p>	<p>技術移転が予定どおり進んでいるか要確認。</p> <p>研修コースの開催時期、期間、受講者、内容等を確認する。</p>	<p>コンピュータ言語とOSの扱い方の移転を経てOS構築についての技術移転中であり、DBとDCについては、基本技術を経てシステムデザインの技術移転中。</p> <p>研修コースの予定について確認した。</p>
<p>4.実施運営管理上の問題点</p> <p>a.研修コースの遅れ</p>	<p>昨年度計画打合せ調査団において合意された上級プログラマコース、短期コースの開講が機材の延着、C/Pの兼任等のため、予定の4月より遅れた。</p>	<p>プロジェクト終了までに、この遅れを取り戻すべく双方とも協力し努力する旨、確認する。</p>	

調査項目	現状及び問題点	対処方針	協議概要
b.アラビア語ソフトの開発	<p>実施協議調査団は以下につき合意した。</p> <p>① PCについては、アラビア語による入出力に必要なソフト搭載可能な機種を供与する。ただし、ソフトは「ジョ」側で調達する。</p> <p>② メインフレームについては、ラインプリンタ上でのアラビア語による出力に必要なインターフェースの開発と調達に協力する。ただし、その実施は機材供与後の専門家派遣期間中となる。</p>	<p>概要及び成果物を説明し「日」側・「ジョ」側の工程、費用分担等を確認する。</p>	<p>UTS側でのアラビア語出力を開発することで合意した。</p>

Ⅲ. 調査団特記事項

1. 調査概要

- (1) 本プロジェクトは、1990年6月～94年6月の4年間のプロジェクトとして発足したものであるが、途中、湾岸戦争の勃発等もあり、プロジェクトの実質的スタート（供与機材の据付け）は92年5月となった。したがって、現地での技術移転の時期は約2年間しか残されていないので、今後、効果的かつ効率的な技術移転が必要である。
- (2) ジョルダン側の関係者は概して優秀であり、技術移転上、特段の支障はないとの日本側専門家の認識である。
- (3) ローカルコストの負担については、R/D調印時に合意した内容については予算が確保されているが、それ以外の追加的なものについてはR/Sに要求してもなかなか承認されないとの説明があった。
- (4) アラビア語化については、調査の結果、以下の理由からUTSベースでアラビア語出力を行うこと及びリレーショナルデータベース「ORACLE（オラクル）」を93年度供与を検討することとした。
 - ・アラビア語プリントアウトを研修コースに含めないと学生の確保が困難である。
 - ・当初方針であるMSPベースのアラビア語化ソフトについては、現地でソフトハウスも交えて技術検討を行ったが、ジョルダン側と共同でアラビア語出力機構の開発を行うのは技術的に困難と判明。
 - ・次善の策としてUTSベースでアラビア語出力を行う策を再検討したところ、リレーショナルデータベース「ORACLE」が現地調達方式でCTTISCをACADEMIC DISCOUNT PRICEで購入可能と判明。
 - ・ORACLEはRDBⅡと並んで代表的なリレーショナルデータベースであり、ORACLE追加によりCTTISCの技術移転内容がより広範なものとなり得る。
- (5) 今年度研修については、先方の希望もあり、DB分野に代えアラビア語出力（余裕があれば一般研修）分野に変更。
- (6) 93年度機材供与については、ORACLEを認可した場合には、ORACLE以外の機

材は原則として必要最低限とする。

2. アラビア語出力ソフトウェアについて

(1) 経緯

1) 1989年9月の事前調査団との打合せにおいて、ジョルダン側からアラビア語処理に関する協力依頼があった。

日本側は、これを拒否した。理由としては、アラビア語のわかる専門家の確保が難しいからであった。

2) 1990年6月の実施協議調査団との打合せにおいて、再度、ジョルダン側より協力依頼があった。日本側は、一定の範囲内での協力を同意した。

3) 日本側の長期専門家が到着した後、双方で再び検討を行い、以下のような計画案を作成した。

(2) 計画原案

1) アラビア語処理の定義としては、単にアラビア語文字の入力と出力に限定する。

2) アラビア語文字を、英語の筆記体のように続けて印刷するための処理、Proportional spacing 処理は行わない。

3) 次のような項目について、双方で分担して作業を行う。

① U T S 上でのアラビア語出力処理のための機能を開発する。

② ジョルダン側にて、U T S と接続したパソコン上で動作するアラビア語入力ソフト（ジョルダン側にて手配されたもの）を利用して、U T S へのアラビア語の入力が可能かどうか、信頼性、利用性、有用性の観点から確認を行う。

その結果を、1992年9月中旬までに、日本側へ報告する。

③ 日本側にて、コンバート処理プログラムの開発と出力プログラムの修正を行う。

また、日本側にて、基本のアラビア語文字パターンデータ作成も行う。

④ ジョルダン側では、日本側にて用意されたアラビア語文字パターンデータの修正を行う。

IV. 合 意 文 書

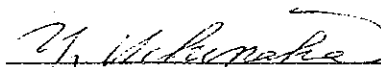
THE MINUTES OF THE MEETING BETWEEN THE JAPANESE TECHNICAL
GUIDANCE TEAM AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF
THE GOVERNMENT OF THE HASHEMITE KINGDOM OF JORDAN
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR
THE COMPUTER TECHNOLOGY DEVELOPMENT AND
TRAINING CENTRE PROJECT
IN THE HASHEMITE KINGDOM OF JORDAN

The Japanese Technical Guidance Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Yasuo Uchinaka, Managing Director, Mining & Industrial Development Cooperation Dept., JICA visited the Hashemite Kingdom of Jordan from July 31 to August 6, 1992 for the purpose of reviewing the activities of the Computer Technology Development and Training Centre Project in the Hashemite Kingdom of Jordan (hereinafter referred to as "the Project") and working out the annual work plan for the period from July, 1992 to June, 1993 for further promotion of the Project.

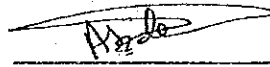
During its stay in the Hashemite Kingdom of Jordan, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Hashemite Kingdom of Jordan authorities concerned over the matters for the successful implementation of the Project.

As a result of the discussions, both parties agreed upon the matters referred to in the document attached hereto.

Amman, August 4, 1992



Mr. Yasuo Uchinaka
Leader,
Technical Guidance Team,
Japan International
Cooperation Agency,
Japan



For Dr. Abdullah Toukan
Secretary General,
Higher Council for Science
and Technology,
The Hashemite Kingdom of
Jordan

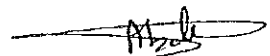
ATTACHED DOCUMENT

Contents

I PROGRESS REPORT

1. Introduction
2. Existing Status of the Project
 - 2.1 Building and Facilities
 - 2.2 Long-Term Experts
 - 2.3 Short-Term Experts
 - 2.4 Equipment
 - 2.5 Counterpart Training in Japan
 - 2.6 Preparation of the Courses
3. Activities and Achievements
 - 3.1 The Jordanian Side
 - 3.1.1 Reorganization of the Centre
 - 3.1.2 Renovation of the Building
 - 3.1.3 Completion of Facilities in the Computer Rooms
 - 3.1.4 Preparation of Counterparts
 - 3.1.5 Transportation of Equipment
 - 3.1.6 Assurance of Project Budget
 - 3.2 The Japanese Side
 - 3.2.1 Dispatch of Long-Term Experts
 - 3.2.2 Dispatch of Short-Term Experts
 - 3.2.3 Provision of Equipment
 - 3.2.4 Counterpart Training in Japan and its Efficiency
 - 3.2.5 Progress of Technology Transfer
 - 3.3 Joint Activities
 - 3.3.1 Meetings for Administration of the Project
 - 3.3.2 Course Development
 - 3.3.3 Arabic Input/Output Feature
 - 3.3.4 Issue of the Pamphlet
4. Problems
 - 4.1 Insufficient Time for Technology Transfer
 - 4.2 Insufficient Usage of the Computer
5. Others
 - 5.1 Correction of M/D-1991

(92)


1

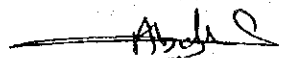
II ANNUAL WORK PLAN

1. Introduction
2. The Jordanian Side
 - 2.1 Assignment of Counterparts
 - 2.2 Development and Implementation of Training Courses
 - (1) First and Second Senior Programmer Course
 - (2) First System Engineer Course
 - (3) Short-Term Courses
 - 2.3 Arabic Input/Output Feature
 - 2.4 Preparation of Budget
 - 2.5 Request for Equipment
 - 2.6 Submitting Application Forms
3. The Japanese Side
 - 3.1 Dispatch of Japanese Experts
 - 3.1.1 Long-term Experts
 - 3.1.2 Short-term Experts
 - 3.2 Provision of Equipment
 - (1) VIDEO System
 - (2) Workstation
 - (3) Vehicle
 - (4) Arabic Input/Output Feature
 - 3.3 Counterpart Training in Japan
 - 3.4 Survey for Existing Status of Computerization

III OTHERS

1. Joint Committee Meeting

①



I P R O G R E S S R E P O R T

1. Introduction

This paper is to report on the progress of The Computer Technology Development and Training Centre Project (hereinafter referred to as "the Project") for the period July, 1991 to July, 1992.

2. Existing Status of the Project

The Project started officially on the 27th of June, 1990, and has continued to be implemented actually at the project site since the arrival of the long-term experts on the 1st of November, 1991.

The Project is now at the status as follows.

2.1 Building and Facilities

The building and facilities for the Project were completed by the end of May, 1992.

2.2 Long-Term Experts

Four (4) Japanese long-term experts are currently assigned. Details are in Appendix 1.

2.3 Short-Term Experts

Seven (7) Japanese short-term experts were dispatched during the period, and completed their tasks in their special fields. Details are in Appendix 2.

2.4 Equipment

All of the machinery and equipment agreed upon between both sides were provided and installed completely at the project site by the end of May, 1992.

Details of equipment provided from Japanese side are in Appendix 3.

2.5 Counterpart Training in Japan

Six(6) counterparts were trained in Japan during the period. Details are in Appendix 4.

Yew

~~*ABC*~~

2.6 Preparation of the Courses

The experts have been transferring technology to the counterparts by mainly using the computer, and the counterparts are concurrently preparing the development of Senior Programmer Course which is to start on the 26th of September, 1992.

Four(4) short-term courses have started, one(1) was completed and three(3) are ongoing.

3. Activities and Achievements

All preparations for the Project--the building, facilities; equipment, experts, counterparts, budget-- were completed by the end of May, 1992.

The implementation of the Project has been smoothly accelerated after June, 1992.

Main activities and achievements during the period are as follows:

3.1 The Jordanian Side (Refer to Appendix 10)

3.1.1 Reorganization of the Centre

The Industrial Studies Division was annexed to The Information and Computer Software Centre, Royal Scientific Society (hereinafter referred to as "RSS") which was newly named "Computer Technology, Training & Industrial Studies Centre" (hereinafter referred to as "the Centre") on the 1st of June, 1992.

The new organization of the Centre is in Appendix 5.

The Centre was inaugurated on the 1st of July, 1992 by His Majesty King Hussein of the Hashemite Kingdom of Jordan in the presence of His Royal Highness Crown Prince AL-Hassan, Chairman of Higher Council for Science and Technology (hereinafter referred to as "HCST").

3.1.2 Renovation of the Building

The building of the Centre was completed at the end of September, 1991 including the rooms--computer room, terminal rooms, workshop rooms, lecture rooms, expert's rooms, storage rooms--as agreed upon in the Minutes of Discussions of the Consultation Survey Team in July, 1991(hereinafter referred to as "M/D-1991").

92

~~Abd S~~

3.1.3 Completion of Facilities in the Computer Rooms

Most of the facilities were prepared on schedule, however, the followings were delayed.

- (1) Raised floor and false ceiling in the computer room
These were about four(4) months delayed from the time agreed upon in M/D-1991 and were completed at the end of March, 1992.
- (2) Power supply
Main power supply in the computer room and power supply to the terminal rooms and workshop rooms were about three(3) months delayed from the time agreed upon in M/D-1991 and were finished at the end of April, 1992.
- (3) Air conditioner
The air conditioners sent from Japan by sea arrived one(1) month behind the schedule and the installation was finished at the end of March, 1992 by the Jordanian agent under the supervision of the Japanese short-term expert.

3.1.4 Preparation of Counterparts

Twenty-three(23) counterparts were assigned at the initial stage of the Project and four(4) were added by the 1st of June, 1992. Total number of counterparts is twenty-seven(27) now. Details are in Appendix 6.

3.1.5 Transportation of Equipment

The equipment provided by the Japanese side had been sent by six (6) batches during the period, five(5) batches by sea and one(1) by air. All equipment was transported to the site safely through custom clearance.

3.1.6 Assurance of Project Budget

Budget in 1992 for the Project has been prepared as shown in Appendix 7. (Budget in 1991 is also shown for comparison.)

Ch

Abel

3.2 The Japanese Side (Refer to Appendix 11)

3.2.1 Dispatch of Long-Term Experts

Four(4) Japanese long-term experts, shown in Appendix 1, have been dispatched and are working in each assigned field; Administration, Technology transfer in the fields of Programming languages, Operating system usage, Database and data communication, System design and Coordination of the project.

3.2.2 Dispatch of Short-Term Experts

Seven(7) Japanese short-term experts, shown in Appendix 2, had been dispatched and had accomplished their following duties for installing the computer system completely. As a result, the system has been used for technology transfer since the end of May, 1992.

Their main jobs were:

- ① one(1) expert as a consultant and supervisor for the installation of the air conditioning system by a local agent,
- ② two(2) for the assembly and installation of the computer system, and also for technology transfer on the maintenance of the system for three(3) customer engineers of the counterparts,
- ③ two(2) for wiring and adjusting the system, and also technology transfer on trouble shootings in the system for three(3) customer engineers above, and
- ④ two(2) for the software installation and the testing of the function in the system, in addition to on-the-job training of the system operation.

3.2.3 Provision of Equipment

All machinery and equipment agreed upon in the Record of Discussions(hereinafter referred to as "R/D"), 1990, M/D-1991 and additional equipment were received two(2) months later than the time agreed upon and installed by the end of May, 1992, and are being used for technology transfer and development of the course.

Details of System Configuration are in Appendix 8.
They are mainly as follows.

(1) Mainframe computer and peripheral equipment

Mainframe computer FUJITSU M770 Model 6 is a large-scale computer equipped with 48 megabytes main memory; as for the peripheral equipment, two(2) laser printers with 1000 lines/min. speed, three(3) magnetic disk units with 7.5 gigabytes and two(2) magnetic tape units are connected to the mainframe.

(2) Personal computers

Eighty(80) units of FUJITSU MY216 16-bit personal computers (hereinafter referred to as "PCs") are installed, each PC has 1 megabyte memory and 40 megabytes hard disk. Forty-two(42) of them are installed in the terminal rooms and connected to the mainframe through both the coaxial cables and the optical fiber cables.

The other thirty-eight(38) are used as standalone type PCs. Twenty-three(23) units of them are in the workshop rooms and fifteen(15) units are in the counterparts' offices.

(3) Software for mainframe computer and its manuals

Two(2) Operating Systems: FUJITSU MSP(Multi-dimensional System Products) and UTS(Universal Time-sharing System) can be executed simultaneously.

MSP provides 2 gigabytes virtual storage for each user and the relational database system. On line real time processing, time sharing processing, and batch processing can be processed under MSP.

UTS is a FUJITSU Open System for mainframe based on operating system "UNIX System V".

Ethernet LAN (Local Area Network) System connects forty-two(42) PCs as terminals.

All the manuals--software manuals:137 types;2 sets each, hardware manuals:57 types;1 set each--related to both operating systems are provided.

(4) Software for PCs

One(1) set of Turbo Pascal is provided.

(5) Training materials

All the text books--30 kinds;2 sets each, 13 kinds;1 set each--necessary for developing the courses are provided.

Eight(8) sets of Project Management Game are provided as a project management training tool.

(6) Others

Two(2) units of Air conditioning system, one(1) unit of Isolation transformer and one(1) set of Power cables for 3 poles and 200 A are provided.

(7) Educational equipment

The following equipment based on R/D and agreed upon during the Discussions of Implementation after the arrival of experts were provided at the end of March, 1992.

- ① One(1) set of Slide Maker consists of MacintoshII -SI, Montage FRI and the Software.
- ② Two(2) sets of Data Show (Magna Byte)
- ③ One(1) set of Copy Machine (Xerox 5034)
- ④ One(1) unit of White Board (RW-360 plus)
- ⑤ Two(2) units of Projector Screen (ODX18, RICOH)
- ⑥ Three(3) units of Computer Table (KOKUYO BBII :OA-Table)
- ⑦ Two(2) units of Overhead Projector (RICOH - OHP 302-F)

3.2.4 Counterpart Training in Japan and its Efficiency

Six(6) counterparts, shown in Appendix 4, were trained in Japan. Three(3) were trained in the customer engineer field and three (3) in the system engineer field.

Every trainee experienced much in his own field in Japan and are working effectively since they came back to the Centre.

3.2.5 Progress of Technology Transfer (Refer to Appendix 12)

60% of technology transfer has been completed as of the end of July, 1992, through the work of the long-term experts, short term experts and the counterpart training in Japan.

The technology transfer in the field of language and operating system usage was completed at the end of June, 1992. After that, technology on the architecture of the operating system is being transferred.

The basic technology transfer in the field of database and data communication has been completed and now the technology on system design is being transferred.

The recognition by counterparts in these fields will become clear at the rehearsal of the course.

EM

Abd S

3.3 Joint Activities

3.3.1 Meetings for Administration of the Project

The following meetings have been organized at the Project for smooth implementation.

(1) Joint Committee Meeting

This meeting is agreed upon in the R/D. It is to be held at least once a year and is chaired by the Secretary General, HCST.

The functions are ;

- ① to formulate the Annual Work Plan,
- ② to review the progress, and
- ③ to exchange views in major issues.

Details of the Meeting is in the R/D.

(2) Management Meeting

This meeting is held on the first Monday of every even month and is chaired by the Director of the Centre.

Members of the meeting are 2 to 3 main persons from each side.

The functions are ;

- ① to review implementation during the period, and
- ② to formulate action plans.

(3) Monthly Meeting

The meeting is held on the first Monday of every month and is chaired by the Director of the Centre.

Members are all of the counterparts and the experts.

The function is to resolve daily problems in the project.

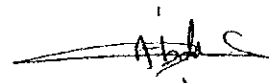
(4) Technical Meeting

The meeting is held as and when necessary and is chaired by two(2) senior system analysts alternately. In the early stages of the Project, this was held on every Saturday.

Members are all of the technical officers from each side.

The function is to resolve the problems on technical matters only.

96



(5) Expert Meeting

This meeting is held on every Saturday at 8:15 and is chaired by the chief advisor.

Members are all Japanese experts.

The functions are to make reports on the past week and discuss the plan of the coming week from each expert, and to exchange information from each other.

3.3.2 Course Development

The project is to develop two(2) new long-term courses (Senior Programmer Course, System Engineer Course) and Short-term courses.

The short term courses to be held in 1992 are shown in Appendix 9. One Japanese expert is assisting in the new computer usage on UNIX in the short term course "Programming in C".

The long term courses have been postponed as follows.

(1) Senior Programmer Course

The course was, at first, decided to start in April, 1992 in the M/D-1991. This, however, had been postponed and would have started in July, 1992 as in the Discussions of Implementation in November, 1991. Because of the delay in arrival of equipment sent from Japan and the preparation of the site as said above.

The course has been postponed again until the 26th of September, 1992 on account of taking enough training time for the computer usage to counterparts.

(2) System Engineer Course

The course was decided to start in October, 1992 as in the M/D 1991. But, it was postponed to January, 1993 as in the Discussions of Implementation in November, 1991. The course has been postponed again until February/March, 1993, so that the graduates in the 1st Senior Programmer Course above can attend this course.

ep

~~Abdel~~

3.3.3 Arabic Input/Output Feature

Arabic Input/Output Feature (hereinafter referred to as "Arabization") was investigated through the following processes.

(1) Process of this matter

- ① Jordanian side had requested Japanese side to cooperate to implement "Arabization" in the Meeting of Preliminary Survey Team in September, 1989.
Japanese side had rejected. The reason was difficulty of recruitment of experts who could know the Arabic language.
- ② Jordanian side had requested again this matter in the Meeting of Implementation Survey Team in June, 1990.
Japanese side agreed on cooperation with some limitations.
- ③ After the arrival of Japanese long-term experts, both sides had discussed again and agreed with the preliminary plan as follows.

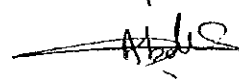
(2) Preliminary Plan

- ① Definition of "Arabization" has been restricted to the narrowest meaning of input and output processing of the arabic characters.
- ② Proportional spacing of the Arabic character is not always necessary.
- ③ The following items were discussed and agreed by both side.
 - a. In consideration of the strong request from jordanian side on Arabization, it was agreed to proceed further investigation of such feature on UTS system.
 - b. Jordanian side prepares and confirms the reliability, availability and serviceability of Arabic processing software under UTS terminals(PCs) and reports it to Japanese side by middle of September, 1992.
 - c. Japanese side develops the "Convert" program and modifies the "Printing" programme. Also Japanese side prepares the basic data of the Arabic character shapes.
 - d. Jordanian side encodes and modifies the Arabic character shapes by using the basic data prepared by Japanese side.

3.3.4 Issue of the Pamphlet

The pamphlet to introduce the Project and the Centre were designed by both sides, and issued in June, 1992. The necessary expenses were born by the Japanese side. The pamphlet was delivered to three hundred(300) local and regional organizations concerning information processing fields and the attendants to the inauguration ceremony of the Centre on the 1st of July, 1992.

42



4. Problems

4.1 Insufficient Time for Technology Transfer

Main reasons are as follows:

- ① Some of C/P are very busy due to holding concurrent posts,
- ② Most of equipment sent from Japan was delayed as said above, and
- ③ Preparations of the building and facilities were delayed.

Both sides agreed upon make every effort for recovering the delay in the schedule of implementation.

4.2 Insufficient usage of the computer

The use of the computer is insufficient at present, however, it is expected to be used more effectively after starting of the courses.

5. Others

5.1 Correction of M/D-1991

There are two typing errors as follows.

	ERROR	CORRECT
ANNEX6 2. PHYSICAL SPECIFICATIONS OF COMPUTER EQUIPMENT (1) Computer room	F618A1 F618B	F617A1 F617B

4/2

[Handwritten signature]

II ANNUAL WORK PLAN

1. Introduction

This paper is the implementation plan in the Project from July, 1992 to June, 1993.

2. The Jordanian Side

The plan of Jordanian side during the period is as follows and also shown in Appendix 13.

2.1 Assignment of Counterparts

Counterparts necessary for implementation of the Project shall be prepared.

2.2 Development and Implementation of Training Courses

(1) First and Second Senior Programmer Course

The First Course is to start on the 26th of September, 1992 and to finish on the 1st February, 1993.

Details of the First Course are shown in Appendix 14.

The Secondary Course will start in February/March, 1993.

(2) First System Engineer Course

The First Course will start in February/March, 1993 for three months. This is simultaneous with the beginning of the Second Senior Programmer Course so that the graduates of First Senior Programmer Course would be able to enter the Course.

(3) Short-Term Courses

The Courses shown in Appendix 9 are to be implemented in 1992, and the similar numbers of courses will be planned in 1993.

2.3 Arabic Input/Output Feature

Jordanian side will be responsible for the following work at own expense.

- a. Prepares and confirms the reliability, availability and serviceability of Arabic processing software under UTS terminals(PCs) and reports it to Japanese side by the middle of September.

90

Abdo

b. Encodes and modifies the Arabic character shapes by using the basic data prepared by Japanese side.

2.4 Preparation of Budget

Budget necessary for the Project in the period shall be prepared.

2.5 Request for Equipment

The Jordanian side requested equipment for fiscal 1993. Details are shown in Appendix 15. The Japanese side stated that it would consider the request on the condition that the necessary budget would be allocated by the Government of Japan.

2.6 Submitting Application Forms

A-1 Form for two short-term experts and A-2, A-3 Forms for counterpart personnel training in Japan are to be submitted by the end of August, 1992.

3. The Japanese Side

The plan of the Japanese side in the period is as follows and shown in Appendix 16.

3.1 Dispatch of Japanese Experts

3.1.1 Long-term experts

Four(4) Japanese long-term experts will remain in the period for completing their own fields.

3.1.2 Short-term experts

Two(2) Japanese short-term experts for maintenance of the system will be dispatched in the period.

3.2 Provision of Equipment

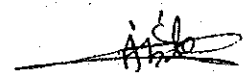
The following machinery and materials are to be provided in Japanese Fiscal 1992.

(1) VIDEO system

One(1) set of VIDEO system consists of follows :

- ① CCD HI-8 VIDEO Camcorder 1 set,
- ② HI-8 VIDEO Tape Recorder 1 set,
- ③ HI-8 Disk-top Editing Machine 1 set,
- ④ PAL VHS VIDEO Tape Recorder 1 set,

92



- ⑤ 14 inch Color Monitor 1 set,
- ⑥ 27 inch Color Monitor 1 set,
- ⑦ Audio-VIDEO Card and Software 1 set, and
- ⑧ Another Necessary Accessories 1 set.

This will be used for the courses and the technology transfer.

(2) Workstation

The machine is HP Apollo Model 710-Desktop Workstation.

(3) Vehicle

The vehicle is one(1) unit of MITSUBISHI "PAJERO" 2600cc, 4WD, seven(7) seating capacity.

(4) Arabic Input/Output Feature.

Japanese side is responsible for the following development works and the support of implementation of Arabic Input/output feature into the system.

- a. Develop the "Convert" programme and modifies the "Printing" programme.
- b. Prepare the basic data of the Arabic character shapes.

3.3 Counterpart Training in Japan

Jordanian counterparts (2~3 persons) are to be trained in Japan in fiscal 1992.

3.4 Survey for Existing Status of Computerization

Survey concerning information technology in Jordan is to be done by March, 1993, and also in neighbouring Arab countries in the period.

(Signature)

(Signature)

III OTHERS

1. Joint Committee Meeting

The second Joint Committee Meeting as stipulated in the R/D was held on 4th August, 1992 at HCST with the participation of the Technical Guidance Team.

The Japanese side of the Joint Committee Meeting expressed the opinion that so far the technology transfer from the Japanese side to Jordanian counterparts has been efficiently implemented, and that the Centre building and the equipment have been properly maintained.

The Committee considered the draft minutes of the meeting and endorsed it as a whole.

The members of the Second Joint Committee Meeting are shown in Appendix 17.

(Handwritten mark)

(Handwritten signature)

Appendix 1. JAPANESE LONG-TERM EXPERTS

No.	Name	Field	Duration	Organization in Japan
1.	Susumu Iwasaki	Chief advisor	31.10.'91 --30.10.'93	CICC
2.	Yasunori Sato	Operating system and computer language	31.10.'91 --30.10.'93	CICC
3.	Tetsu Uehara	Database and data communication	12.12.'91 --11.12.'93	FUJITSU LTD.
4.	Tsuyoshi Murakami	Coordinator	11.05.'92 --26.06.'94	JICA

Appendix 2. JAPANESE SHORT-TERM EXPERTS

No.	Name	Field	Duration	Organization in Japan
1.	Manabu Uchino	Facilities (air conditioning)	26.03.'92 --06.04.'92	FUJITSU LTD.
2.	Manabu Uchino	Facilities (installation)	16.04.'92 --30.04.'92	FUJITSU LTD.
3.	Keiji Akamatsu	Facilities (")	16.04.'92 --04.05.'92	FUJITSU LTD.
4.	Osamu Kasai	Customer engineer (assembly, adjustment)	23.04.'92 --09.05.'92	FUJITSU LTD.
5.	Atsumi Kato	Customer engineer (")	23.04.'92 --29.05.'92	FUJITSU LTD.
6.	Masahiro Aoyama	System engineer (software installation, testing)	07.05.'92 --23.05.'92	FUJITSU LTD.
7.	Takanori Ebihara	System engineer (")	07.05.'92 --23.05.'92	FUJITSU LTD.

(Handwritten mark)

(Handwritten signature)

Appendix 3. LIST OF EQUIPMENT

I Hardware

No.	Name of Machinery	Quantity	Specification	Remarks
1	Central Processing Unit	1	FUJITSU M-770/6	R/D - '90
2	Main Memory	1	48MB	"
3	Magnetic Disk Unit	3	7.5GB	"
4	Magnetic Tape Unit	2	6250/1600BPI	"
5	Line Printer	2	1000LPM	"
6	Personal Computer	42	Terminal	"
	"	18	Standalone	"
7	Serial Printer	23		"
8	Local Area Network	1		"
9	Maintenance Parts, tools			"
10	Air Conditioner	2		"
11	Isolation Transformer	1		"
12	Power Cable	1		"
13	PC Printer	7		M/D - '91
14	Printer Cable	10		"
15	Ribbon Cassette	50		"
16	Personal Computer	20	Standalone	Additional equipment after M/D - '91
17	Serial Printer	20		"
18	Ribbon Cassette	50		"

II Software

No.	Name of Materials	Quantity	Specification	Remarks
1	Software (Main Frame)	1	OS, LP, DC, RDB	R/D - '90
2	Software manual	2		"
3	Educational Material	2		"
4	Project Management Game	8	Project Management Training Tool	"
5	IPF	1] System Performance Measurement Tool	M/D - '91
6	PDL/PDA	1		"
7	PDL/PDA AE	1		"
8	JCM	1		"
9	APS	1		"
10	ADJUST	1] Character Development Basic Tool	"
11	A/NLID-E	1		"

4/2

Abdel

III Additional equipment

No.	Name of Equipment	Quantity	Maker, Model	Remarks
1	Slide Maker	1	MACINTOSH II SL.	
2	Data Show	2	MAGNA BYTE	
3	Copy Machine	1	Xerox	
4	White Board	1	RW-360 Plus	
5	Table for Computers	3	SD-02128	
6	Screen for Projector	1	ODX18, RICOH	
7	Overhead Projector	2	RICOH-OHP 302-F	

(4)

mde

Appendix 4. COUNTERPART TRAINING IN JAPAN

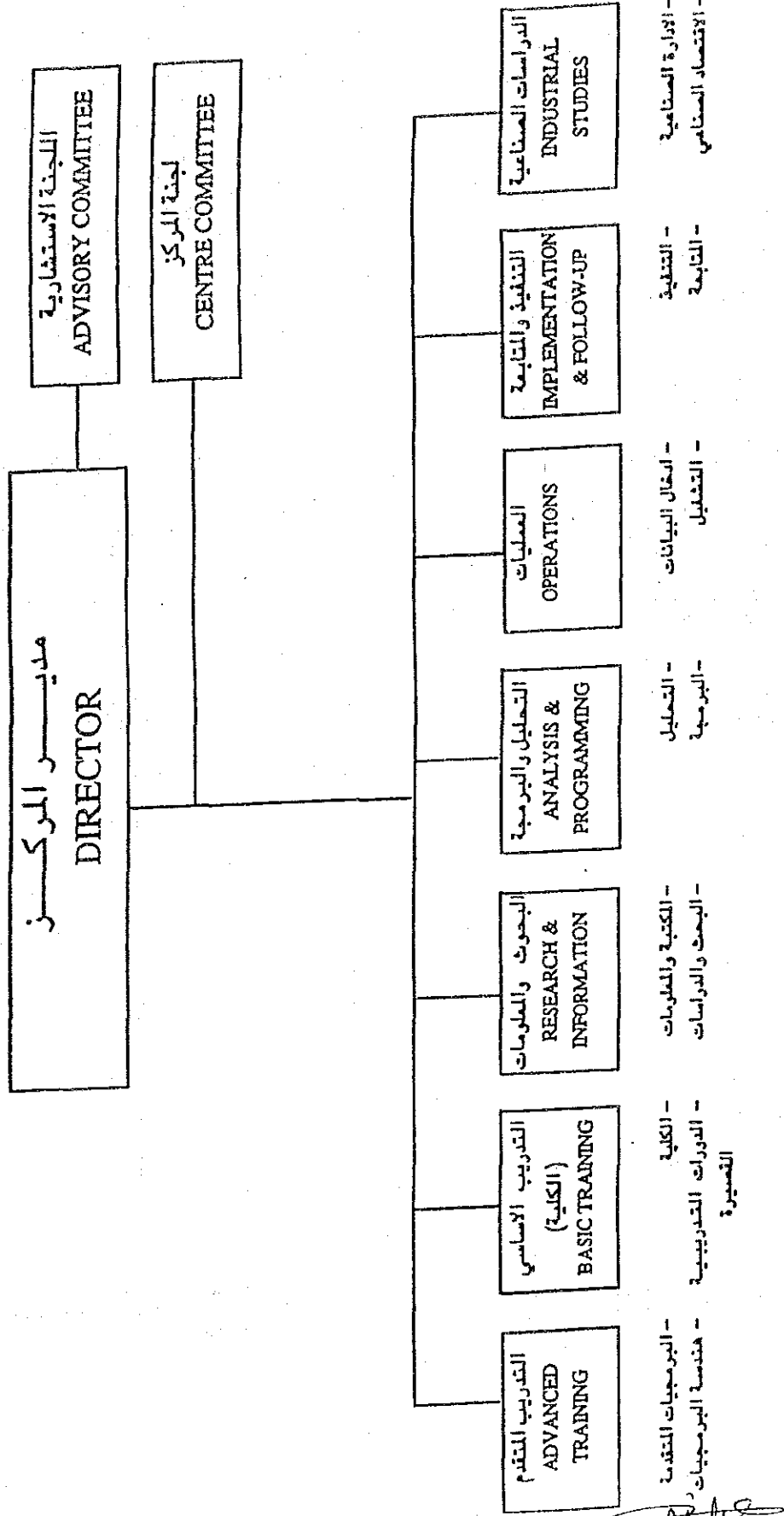
No.	Name	Field of Training	Duration
	<u>1991 (J. F. Y)</u>		
1.	Mohammad Al-Wathiq M. Ibrahim Shaqrah	Customer engineer	04.02. '92 - 07.04. '92
2.	Jehad Rusheid Saleh Rawabdeh	Customer engineer	04.02. '92 - 07.04. '92
3.	Ismat Abdel Hameed Al-Dmour	Customer engineer	04.02. '92 - 07.04. '92
4.	Zuhair Husain Sleibi	System engineer	29.03. '92 - 28.04. '92
5.	Hussein Amin Hassouneh	System engineer	29.03. '92 - 28.04. '92
6.	Bassam Salem Zumot	System engineer	29.03. '92 - 28.04. '92

PR

Abd S

مركز تكنولوجيا الحاسوب والتدريب والدراسات الصناعية

COMPUTER TECHNOLOGY, TRAINING AND INDUSTRIAL STUDIES CENTRE



Appendix 6. JORDANIAN COUNTERPART PERSONNEL OF THE CENTRE

NAME	ROLE	Duration of C/P				COUNTERPART TRAINING IN JAPAN
		'91	'92	'93	'94	
①Yousef Nusseir	Director	=====	=====	=====	=====	
②Faris Dawood	Facility	=====	=====	=====	=====	
③Mahmood Shishani		=====	=====	=====	=====	
④Jehad Shibli		=====	=====	=====	=====	
⑤Mohamad Alwathiq Shaqrah		Customer Engineer	=====	=====	=====	=====
⑥Isnat Al-Dmour		=====	=====	=====	=====	FUJITSU 92.02.04~92.03.31
⑦Jehad Rawabdeh		=====	=====	=====	=====	FUJITSU 92.02.04~92.03.31
⑧Hussein Hassouneh		Operating system and computer language	=====	=====	=====	=====
⑨Sirin Said		=====	=====	=====	=====	[CICC (M) 90.04.06~90.09.26]
⑩Zuheir Sliebi		Data base and data communication	=====	=====	=====	=====
⑪Muneer Assad	System engineer	=====	=====	=====	=====	[OIC (PCNET) 89.11.22~90.03.26]
⑫Firas Rshaidat		=====	=====	=====	=====	OIC (INST) 90.09.27~91.03.17
⑬Sameer Qutub	Instructor	=====	=====	=====	=====	OIC (SE) 90.11.17~91.02.16
⑭Fadel Sweidan		=====	=====	=====	=====	
⑮Sauer Abdulraheem		=====	=====	=====	=====	
⑯Burhandeen Daghestani		=====	=====	=====	=====	
⑰Hussein Kawasmi		=====	=====	=====	=====	[OIC (M) 87.05.07~87.06.15]
⑱Khamis Omar		=====	=====	=====	=====	
⑲Bassam Zaumot		=====	=====	=====	=====	FUJITSU 92.03.29~92.04.28
⑳Farid Hadadeen		=====	=====	=====	=====	
㉑Daoud Daoud		=====	=====	=====	=====	
[Firas Rshaidat] [Hussein Hassouneh] [Muneer Assad] [Sirin Said] [Sameer Qutub]						
㉒Sersa Kurdi	Administrators	=====	=====	=====	=====	
㉓Rima Al Jowhari		=====	=====	=====	=====	
㉔Mohammad Harb		=====	=====	=====	=====	
㉕Zakia Bishawi		=====	=====	=====	=====	
㉖Jameel Shubeilat		=====	=====	=====	=====	
㉗Hala Nasser		=====	=====	=====	=====	

* [] : concurrent post, (M) : Management course, (PCNET) : P.C. Network course, (INST) : Instructor course, (SE) : System engineer course, [] : another training, OIC : OKINAWA International Center, JICA, CICC : Center of the International Cooperation for Computerization

40

AP/6/9

Appendix 7. Project Budget 1992 (with 1991)

(Computer Technology, Training and Industrial Studies Centre)

(unit Jordan Dinar)

Item	Year 1 9 9 1 (as reference)	1 9 9 2
① Construction	3 0 6 , 0 0 0	—————
② Personnel	6 0 , 0 0 0	1 4 0 , 0 0 0
③ Utilities	1 0 , 0 0 0	2 0 , 0 0 0
④ Office Consumables	7 , 5 0 0	1 5 , 0 0 0
⑤ Furniture and Office Equipment	3 1 , 0 0 0	1 1 , 0 0 0
⑥ Travel Allowances	5 , 0 0 0	5 , 0 0 0
⑦ Maintenance	—————	1 0 , 0 0 0
⑧ Others	2 3 , 0 0 0	1 0 , 0 0 0
T O T A L	4 4 2 , 5 0 0	2 1 3 , 0 0 0

Note : Budget in 1991 is as follows:

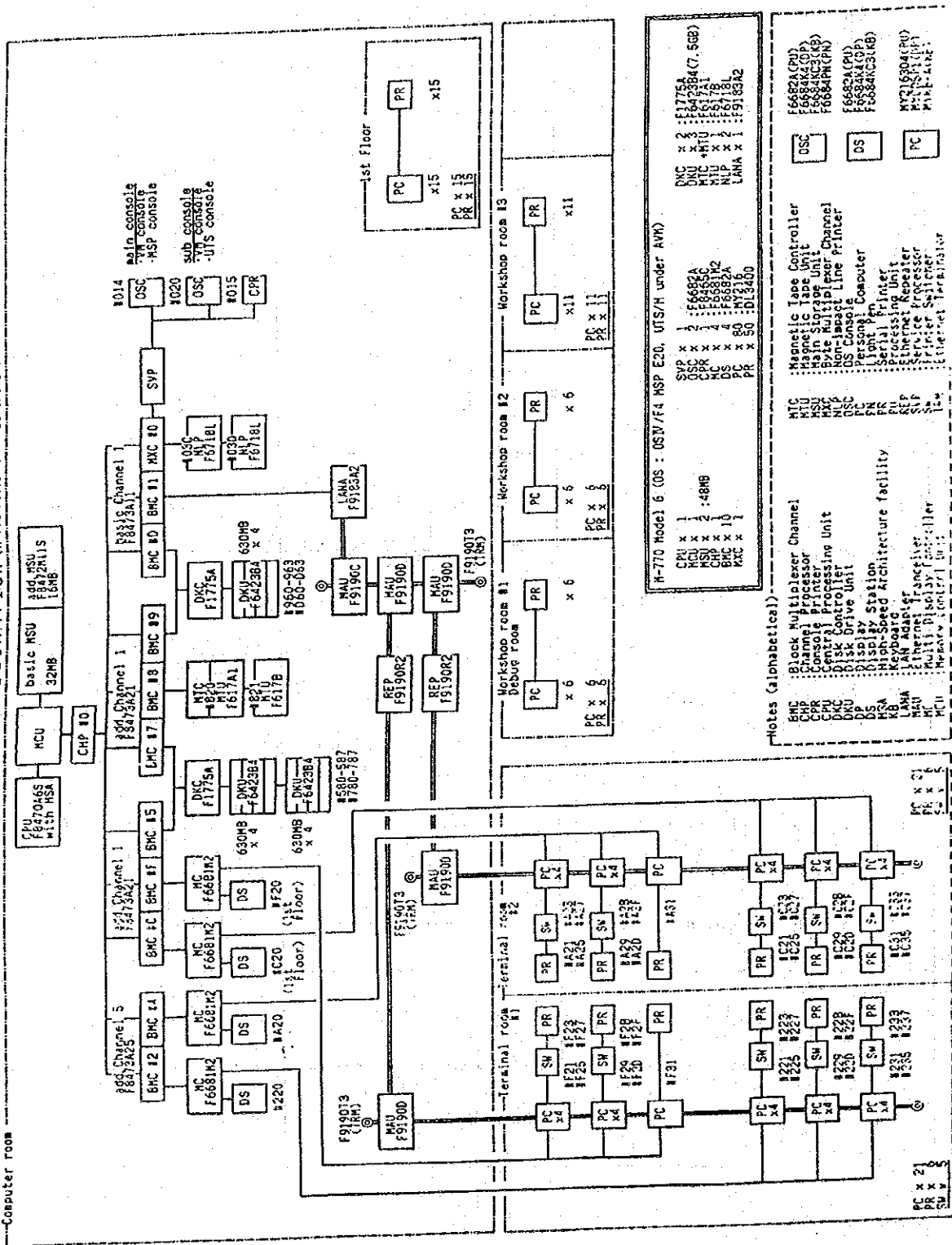
(1) Construction fee is from 1/1/1991 to 31/12/1991.

(2) The other fees are from 1/6/1991 to 31/12/1991.

(Handwritten mark)

(Handwritten signature)

Appendix 8. SYSTEM CONFIGURATION (H-770 Model 6) - at the ground floor in the Centre



Appendix 9. LIST OF SHORT-TERM COURSES, 1992

COMPUTER TECHNOLOGY, TRAINING
AND INDUSTRIAL STUDIES

TRAINING PLAN FOR 1992

Course No.	Course Title	No. of weeks	Date	
			Scheduled 00/00/00 - 00/00/00	Actual 00/00/00 - 00/00/00
①	INTRODUCTION TO COMPUTERS & THEIR APPLICATIONS	4	11/04/92 - 06/05/92	16/05/92 - 21/06/92
	" (Repeat)	4		25/07/92 - 22/08/92
②	COMPUTER APPLICATIONS IN LIBRARIES & INFORMATION CENTERS	4	11/04/92 - 06/05/92	CANCELLED
③	PROGRAMMING IN COBOL	4	09/05/92 - 03/06/92	POSTPONED
④	PROGRAMMING IN PASCAL	4	09/05/92 - 03/06/92	CANCELLED
⑤	UNIX OPERATING SYSTEM	2	20/06/92 - 01/07/92	POSTPONED
⑥	COMPUTERS & PERSONNEL SYSTEMS	2	20/06/92 - 01/07/92	POSTPONED
⑦	PROGRAMMING IN "C"	4	04/07/92 - 29/07/92	11/07/92 - 19/08/92
⑧	OFFICE AUTOMATION	4	04/07/92 - 29/07/92	11/07/92 - 05/08/92
⑨	DATABASE SYSTEMS DESIGN	3	01/08/92 - 19/08/92	
⑩	COMPUTERS AND FINANCIAL SYSTEMS (ACCOUNTING & BUDGETING)	2	01/08/92 - 12/08/92	
⑪	DBASE III PLUS	3	22/08/92 - 09/09/92	
⑫	COMPUTERS & PROJECT MANAGEMENT	3	22/08/92 - 09/09/92	
⑬	ORACLE DBMS	3	12/09/92 - 30/09/92	
⑭	COMPUTERS & COMMUNICATION NETWORKS	2	12/09/92 - 23/09/92	
⑮	DATA SECURITY	1	26/09/92 - 30/09/92	
⑯	COMPUTERIZED INFORMATION SYSTEMS	2	03/10/92 - 14/10/92	
⑰	COMPUTERS & INVENTORY MANAGEMENT SYSTEM	2	03/10/92 - 14/10/92	

(Handwritten mark)

(Handwritten signature)

Appendix 10. IMPLEMENTATION FROM JULY 1991 TO JULY 1992

--- Plan Accomplishment

Japanese Fiscal Year Calendar Year Item	1991			1992		
	7 (2/4)	8	10 (3/4)	12 1 (4/4)	3 4 (1/4)	6 7
<u>Jordanian side</u>						
1. Renovation of the building						
2. Arrangement of the facilities						
① Classrooms and meeting rooms						
② Facilities and spaces necessary for the installation and storage of the machinery, equipment and materials provided by the Government of Japan.						
③ Office facilities and other necessary facilities for the Japanese experts.						
3. Provision of counterpart						
① Head of the Project						
② Operating system and computer language						
③ Database and data communication						
④ Administrative personnel (Administrative staff and other necessary supporting staff)						
⑤ Instructors						
4. Pre-study by counterpart for software						
5. Training courses						
① Senior programmer course						
② System engineer course						
③ Short term courses						

Appendix 11. IMPLEMENTATION FROM JULY 1991 TO JULY 1992

Japanese Fiscal Year	1991				1992								
	1991		1992		1992		1992						
Calendar Year	7	(2/4)	9	10	(3/4)	12	1	(4/4)	3	4	(1/4)	6	7
Item													
Japanese side													
1. Dispatch of Japanese experts													
a) Long-term experts													
1- Chief advisor	▲												
2- Operating system and computer language													
3- Database and data communication													
4- Coordinator													
b) Short-term experts													
1- Facilities													
2- Facilities													
3- Facilities													
4- Customer engineer													
5- Customer engineer													
6- System engineer													
7- System engineer													
2. Acceptance of Jordanian counterpart personnel in Japan													
1. System engineer													
2. do													
3. do													
4. Customer engineer													
5. do													
6. do													
3. Provision of equipment & machinery													

②

[Handwritten signature]

Appendix 12. IMPLEMENTATION FROM JULY 1991 TO JULY 1992

-- Plan
 --- Accomplishment

Japanese Fiscal Year	1991		1992	
	Calendar Year		Calendar Year	
Item	7 (2/4)	9 10 (3/4) 12 1 (4/4)	3 4 (1/4)	6 7
<u>Transfer of technology</u>				
1. Programming languages		---	---	---
2. Operating system usage		---	---	---
3. Database and data communication		---	---	---
4. System design		---	---	---
5. Project management		---	---	---

Handwritten signature

Appendix 13. PLAN FOR JORDANIAN SIDE FROM JULY 1992 TO JUNE 1993

— Plan

Calendar Year	1992	1993
Japanese Fiscal Year	1992	1993
ITEM	7 (2/4) 9 10 (3/4) 12 1 (4/4) 3 4 (1/4) 6	
<u>Jordanian side</u>		
1. Assignment of Counterparts		
① Head of the Project		
② Operating system and computer language		
③ Database and data communication		
④ Instructors		
⑤ Administration (Administrative staff and other necessary supporting staff)		
2. Development and Implementation of Training Courses	26/9 1st	1/2 2nd
① Senior programmer course		1st
② System engineer course	⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
③ Short term courses (Mark : course No. in Appendix 9)		
3. Arabic Input/Output Feature	⑮ ⑯	

Appendix 14. Senior Programmer Course Curriculum

GROUP NAME	SUBJECT NAME	DAYS	NO OF INST	HANDS ON	EXERCISE	INSTRUCTOR	DATE
			INST	ASSIS	STAFF		
OTHERS	OPENING CEREMONY	1	ALL	STAFF		ALL STAFF	26/9/92
SYSTEM	SYSTEM DEVELOPMENT OVERVIEW	2	1	1		SAQER/SIRIN	27/9 - 28/9
	SYSTEM ANALYSIS	5	1	1		FADEL/SAMIR	29/9 - 5/10
	OPEN DAY (1)	1					6/10/92
DESIGN	PROGRAM DESIGN	3	1	1		MUNIR/HUSSEIN	7/10 - 11/10
	MODULE DESIGN	3	1	1		SIRIN/FIRAS	12/10 - 14/10
	TEST PLANNING	2	1	1		FIRAS/SIRIN	17/10 - 18/10
	OPEN DAY (2)	1					19/10/92
OS	OPERATING SYSTEM OVERVIEW	2	1			BASSAM	20/10 - 21/10
	TSS USAGE	2	1	2	YES	HUSSEIN/MUNIR/ZUHAIR	24/10 - 25/10
	OPERATING SYSTEM USAGE	3	1	2	YES	HUSSEIN/MUNIR/ZUHAIR	26/10 - 28/10
	OPEN DAY (3)	1					31/10/92
DATABASE	ONLINE DATABASE OVERVIEW	3	1			SAMIR	1/11 - 3/11
	ROB PROGRAMMING	5	1	2	YES	SIRIN/MUNIR/FIRAS	4/11 - 10/11
	ROB DESIGN	4	1	1		ZUHAIR/MUNIR	11/11 - 17/11
	OPEN DAY (4)	1	1				18/11/92
& ONLINE	ROB ADMINISTRATION	2	1	1	YES	MUNIR/HUSSEIN	21/11 - 22/11
	ONLINE PROGRAMMING	6	1	2	YES	FIRAS/SIRIN/MUNIR	23/11 - 30/11
	ONLINE DESIGN	4	1	1	YES	FIRAS/SIRIN	1/12 - 6/12
	ONLINE ADMINISTRATION	3	1	1	YES	HUSSEIN/MUNIR	7/12 - 9/12
	OPEN DAY (5)	1					12/12/92
UNIX	UNIX FUNDAMENTALS	5	1	2	YES	SAQER/DAUD/HUSSEIN	13/12 - 19/12
	C PROGRAMMING	10	1	2	YES	SAQER/DAUD/HUSSEIN	20/12 - 2/1
	OPEN DAY (6)	1					3/1/93
EX	SYSTEM DEVELOPMENT WORKSHOP	20	1	3	YES	BASSAM/SIRIN/FIRAS/MUNIR	4/1 - 31/1
OTHERS	CLOSING CEREMONY	1				ALL STAFF	1/2/93

92

* 2 OPEN DAYS WILL BE RESERVED FOR THE COMPUTES EXPO (1992) DATE WILL BE DETERMINED LATER

Appendix 15. Request for Equipment from Jordanian side for fiscal Year 1993

① Relational Database for UTS (ORACLE)

The provision of this equipment is subject to condition that necessary budget will be acquired for the Project.

(Yr)

Abdo

Appendix 16. PLAN FOR JAPANESE SIDE FROM JULY 1992 TO JUNE 1993 To submit A-form Plan

Calendar Year	1992				1993							
	Japanese Fiscal Year											
Item	7	(2/4)	9	10	(3/4)	12	1	(4/4)	3	4	(1/4)	6
1. Dispatch of Japanese side Experts a) Long-term experts ① - Chief advisor ② - Operating system and computer language ③ - Database and data communication ④ - Coordinator b) Short-term experts ① - Maintenance ② - Maintenance												
2. Acceptance of Jordanian Counterpart Personnel in Japan ① System engineer ② do ② do 3. Provision of Equipment ① Machinery							△	△				
② Arabic Input / Output Feature ③ Relational Database for UTS (ORACLE)												△

Video
Workstation
Car

NOTES: This schedule is subject to condition that necessary budget will be acquired for the implementation of the Project.

Ande

Appendix 17. Members of the Second Joint Committee Meeting

- | | | |
|---------------------------------|--|------------------------------|
| 1. Dr. Abdel-Rahman Al-Fataftah | -Acting, Secretary General HCST. (Chairman) | |
| 2. Dr. Yousef NUSSEIR | -Director, CTTISC, RSS | |
| 3. Dr. Ghassan MUFLEH | -Director, I.T. Dept., HCST | |
| 4. Dr. Saqer ABDEL-RAHIM | -Head, Research & Information Division | |
| 5. Mr. Fadel SWEIDAN | -Head, Advanced Training Division | |
| 6. Mr. Yasuo UCHINAKA | -Leader (Japan International Cooperation Agency (JICA)) |] Technical
Guidance Team |
| 7. Mr. Tsuyoshi MATSUKAWA | -Member (Ministry of International Trade & Industry) | |
| 8. Mr. Tatsuya KAWACHI | - " (Ministry of Posts & Telecommunications) | |
| 9. Mr. Kenji KATO | - " (Center of the International Cooperation for Computerization (CICC)) | |
| 10. Mr. Masahiro AOYAMA | - " (CICC) | |
| 11. Mr. Seiji MIKUNI | - " (JICA) | |
| 12. Mr. Susumu IWASAKI | -Chief Advisor | |
| 13. Mr. Yasunori SATO | -Japanese Expert | |

Observers

- | | |
|--------------------------|--------------------------------|
| 1. Mrs. Muna IDRIS | -HCST |
| 2. Ms. Hala NASSER | -CTTISC, RSS |
| 3. Mr. Tetsuro AMANO | -Secretary, Embassy of Japan |
| 4. Mr. Kiyoshi HIRAKAWA | -Resident Representative, JICA |
| 5. Mr. Tsuyoshi MURAKAMI | -Japanese Expert |
| 6. Mr. Tetsu UEHARA | - " |

JICA